



澤田正己議員

町道退休寺線の整備について

新設を検討中

そのためには大型バスの走行を確保できる幅員が必要であると考え、退休寺集落の西側に道路を新設する案も現在検討している。

問 この道路は合併前、旧中山町が町道退休寺線として、九号線から退休寺の大型農道まで生活及び観光道路として計画していた。「大山町総合計画」でも計画され、残り700m程である。

道路の終点退休寺地内には、山陰最古の曹洞宗の名刹、金龍山退休寺があり、勅使門や後小松天皇直筆の勅額もあり、大山町の文化財である。着工予定はいつになるのか。

答

(山口隆之町長) 町道退休寺線の整備については、平成18年に策定した「大山町総合計画」の中で、町道整備の主要事業と位置づけている。

この道路は、名刹金龍山退休寺と県道下市赤碕停車場線を結ぶ観光道路として整備するもので、



由緒ある金龍山退休寺

道路特定財源について

厳しい予算配分

問

道路特定税率問題で政治は大いに混乱した。

四月末に関係法案が成立し本県の道路予算は著しく影響を受けたと聞く。(1)本町への道路予算譲与税交付金の影響はどうか。(2)山陰道下市中山間はいつ頃開通の見通しか。(3)道路財源は車のガソリン税である。当然地方が優先されるべきであると思うがどうか。

答

(山口町長)

道路整備財源の種となるガソリン税などの暫定税率が4月30日に、道路整備の財源等の特例法案が5月13日に成立した。(1)本町への影響は、現時点では把握できていない。交付金事業については例年より二ヶ月ほど遅れたが、額については影響は受けていない。(2)国土交通省からは、「事業着手してから完成まで概ね10年かかる」との説明を受けている。町として山陰道の早期開通に向け積極的に要望活動を行い住民説明、用地取得、埋蔵文化財調査等による限りの協力をしていく。(3)都会の方、マスコミの方も含め、地方、地域の実情や道路の必要性を理解していただくことが必要。



高規格道路発掘調査 (小竹)